

笑っぴりざりざり如

番組
ハンカチ
荒大名の茶の湯

対談

『関ヶ原』を語る

「解説・対談」 四国大学教授・須藤茂樹

林家竹丸

2017年 11月12日(日) 開演 14:30 (開場 14:00) 鳴門市ドイツ館 1階大ホール

大人 500円 小中学生 150円 (鳴門市ドイツ館・鳴門市賀川豊彦記念館 共通入館料として) 定員 250名

チケット
について

- 【販売所】 ・鳴門市ドイツ館 1階インフォメーション
・鳴門市うずしお観光協会 (鳴門市撫養町南浜字東浜 165-10 うずしお会館 1F)
- 【問合せ】 TEL 088-689-0099 (鳴門市ドイツ館) ※鳴門市ドイツ館は10/23は休館日。

日付／2017年11月12日(日) 時間／開場14時 開演14時半 料金／大人500円 小中学生150円

江戸時代に確立した落語は、現代にも受け継がれている日本の伝統芸能です。「笑っちゃう会」はドイツ館を寄席として行われる落語会。大好評につき、今回で第8回を迎える恒例の行事です。上方落語家・林家竹丸氏により、二席の落語が披露されます。また、四国大学教授・須藤茂樹氏(元徳島城博物館学芸員、徳島で江戸落語を楽しむ会)による落語解説や対談のコーナーも設け、落語好きの方も、初めての方にも、皆様に気軽に楽しんでいただける落語会となっています。ドイツ館と落語、異色のコラボレーションが生み出す奇妙な面白さを、是非一度ご覧ください！

林家竹丸 [上方落語家]

はやしゃ たけまる

兵庫県宝塚市出身。1995年、上方落語の四代目林家染丸に入門し、七番弟子となる。天満天神繁昌亭(大阪市北区)などを拠点に、関西一円の落語会に多数出演。講演、執筆活動でも落語の魅力を発信している。入門の前年までNHK徳島放送局で記者として5年間勤務した縁で、いまでも徳島とのつながりは深い。2015年度後期NHK連続テレビ小説「あさが来た」に大阪商人役で20回ほど出演した。9月30日公開の東宝映画「亜人」にも新聞記者役で登場するなど、幅広い分野で活躍している。

番組のみどころ

ハンカチ

倦怠期を迎え、毎日ケンカが絶えない40代の夫婦。ひょんなことから夫が商店街主催の“あるコンテスト”に出場するはめに。しぶしぶステージに上がった夫は聴衆を前に何を語るのか・・・。
上方落語協会主催のコンクール「上方落語台本募集」にて2009年に入賞した新作落語(作者は漫才コンビ「2丁拳銃」の小堀裕之さん)。

荒大名の茶の湯

豊臣秀吉の死後、政局は風雲急を告げる。天下獲りをねらう徳川家康は豊臣政権の安泰を図る石田三成との対立が深まる中、諸大名を抱き込もうと露骨な多数派工作を開始。中でも秀吉の子飼いの加藤清正、福島正則ら7人の荒くれ大名たちを味方にできるかが最大のポイントだった。家康の参謀、本多佐渡守正信はその意を受け、さっそく清正らを茶会に招く。だが、荒くれ大名たちは茶の作法を全く知らない。彼らは無事に茶会を乗り切れるのか!?



前回(2016年)開催時の様子

チケットについて

- ◆チケットは、鳴門市ドイツ館1階インフォメーションのほか、鳴門市うずしお観光協会(鳴門市撫養町南浜字東浜165番地の10 うずしお会館1階)でも取り扱っております。チケットについてのお問い合わせは鳴門市ドイツ館(TEL 088-689-0099)までお願いします。
※鳴門市ドイツ館は、第4月曜日(10月23日)は休館日です。
- ◆当コンサートのチケットで、当日(2017年11月12日)に限り「鳴門市ドイツ館」および「鳴門市賀川豊彦記念館」の展示室への入室が可能となります。展示室入室の際は、専用受付にてコンサートのチケットをご提示ください。

鳴門市ドイツ館



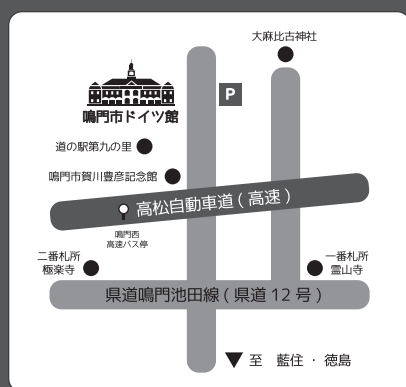
鳴門市ドイツ館は、大正時代「板東俘虜収容所」で過ごしたドイツ兵の生活の様子を展示した史料館です。模範収容所と評された板東俘虜収容所のエピソードは、今日に至るまで続く、ドイツと鳴門の友好関係を築きました。こうした歴史を後世に伝えるべく、また、ドイツと鳴門の友好の象徴として、鳴門市ドイツ館は存在しています。

2階史料展示室観覧料 大人400円 小中学生100円

〒779-0225 徳島県鳴門市大麻町桧字東山田55-2

【TEL】088-689-0099 【FAX】088-689-0909

【MAIL】info@doitsukan.com 【URL】http://doitsukan.com/



▼ 至 藍住・徳島